

## 平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

### 【1】平成 30 年度一般経過報告

#### はじめに

公益社団法人関西吟詩文化協会は、本年「公益社団法人」として内閣総理大臣の認定を受けてから 7 年目、昭和 9 年の創立以来 85 周年の節目の年となり、全国を 5 地区（近畿・中国・関東東海・四国・九州）に別けて、「創立 85 周年並びに公益社団法人設立 7 周年記念大会」を開催いたしました。本会は創立以来、「詩歌吟詠活動そのものが国の伝統技芸の伝承と、国民の精神文化の向上発展に寄与している」と信じ、真摯な努力を重ねて参りました。私たちはこの長い歴史の積み重ねを振り返り、先輩諸先生への感謝と誇りをもって吟詠活動に努めるとともに、「一生初心」の会訓を心に留め、勇気と行動をもって課題に挑戦して参りました。

また『温故新生』（視座を変えて）のスローガンのもと、物事の解決に当っては、単に視点を変えるということだけでなく、「表面だけでなく問題の根幹をみる。」「多面的・多角的な角度からみる。」「長期的な視野でみる。」そんな姿勢を大事にして検討を行ってきました。本会が永遠に進化発展するために、伝統の良い点は残して継承し、時代の変化に即して、変えるべき点は勇気を持って変えてきました。

- ①本部と地区連合会・各会との課題の共有については、地区連合会役員の先生、各会の会長先生と意見交換をし、貴重な意見を頂戴し、事業運営の参考にさせて頂き、進めて参りました。
- ②公益事業の推進は、本部事業のみに捉われず、検討を重ねていますが、未だ十分とは言えません。今後、公益事業のすそ野を拓げるため、更に幅広く地区事業をも含めて推進致します。
- ③中期的な採算改善に取り組むため、本部各部委員会の活動を横断的・機能的に、見直しを行い、包括的に、業務を統括する組織として、局を設置し、

業務執行役員として、副会長に各局長・副局長をお願いし、効率化を図って参りました。

- ④「会館建設問題」につきましては、現会館に耐震工事・エレベーター設置等大幅改修を加え、会員がより快適にご利用いただけるような会館に全面改修し、4月に完成いたしました。

予定していた余剰資金の見込みがつかまりましたので、有効活用を図ります。

- ⑤高齢者が楽しめるよう、吟詠歌謡を発売いたしました。

- ⑥10ヶ年の収支計画を策定し、事業運営に反映させております。

## [2]会員増員対策

### ①吟詠普及推進事業

全国各地において、吟詠普及推進研修会を開催し、2,373人（内一般会員他610人）の参加を得た。また、85周年記念大会及び新春吟詠大会では、総数4,553人（内一般会員他1,970人）の参加を得た。

### ②東明未来塾

新指導者養成講座として、本部コース（第4期）・東海コース（第3期）・四国コース（第2期）を開講し、総数116人が修了した。

### ③再入会促進キャンペーン

前年に引き続きキャンペーンを実施し、104人の入会を得た。

会員数は平成31年3月末現在 10,745人となり、798人（6.9%）の減少となりました。

内訳としては、新入会者数691人（再入会者含む）に対し、退会者が1,489人でした。

吟詠人口の減少と愛好者の高齢化という大変厳しい環境にあり、様々な対策を講じておりますが減少傾向に歯止めが掛からず、残念な状況が続いていますが、人生100年時代、諦める事無く、吟詠普及に努めます。

# 平成 30 年度事業報告

自：平成 30 年 4 月 1 日～至：平成 31 年 3 月 31 日

## 1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行った。

### 公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

#### (1) 吟詠普及推進吟詠大会（一般来聴公募）

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図った。又地区事情に合わせて新指導者の研修に取り組んだ。

#### ① 吟詠普及推進事業 創立 85 周年全国吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の自主公演を行い、素晴らしい吟詠を不特定多数の人に鑑賞頂いた。近畿地区・中国地区・関東東海地区・四国地区・九州地区の順に 5 地区において公演を行った。

1. 全国吟詠大会近畿地区大会（大阪・京滋福井・奈良・兵庫・和歌山・岡山）  
平成 30 年 10 月 21 日（日）あましんアルカイックホール（尼崎市）  
1,800 人参加（内一般会員他 640 人）
2. 全国吟詠大会中国地区大会（広島・島根・山口）  
平成 30 年 11 月 18 日（日）広島市安芸区民文化センター  
600 人参加（内一般会員他 250 人）
3. 全国吟詠大会関東東海地区大会（関東・東海）  
平成 31 年 2 月 17 日（日）東海市芸術劇場  
800 人参加（内一般会員他 400 人）
4. 全国吟詠大会四国地区大会（徳島・高知・香川・愛媛）  
平成 31 年 2 月 24 日（日）美馬市地域交流センター  
550 人参加（内一般会員他 300 人）
5. 全国吟詠大会九州地区大会（福岡・大分・熊本・長崎・佐賀・鹿児島）  
平成 31 年 3 月 10 日（日）ミリカローデン那珂川  
550 人参加（内一般会員他 330 人）

#### ② 新春全国吟詠大会（一般来聴公募）を開催した。

新年を寿ぎ平成 31 年 1 月 13 日（日）に太閤園（大阪）で、全国より会員及び不特定多数者を募り、プログラムは第一部：昨年度優勝者吟詠、第二部：会員吟詠と役員吟詠、第三部：懇親会の構成で開催した。関西吟詩の優秀吟者の吟詠鑑賞および参加者全員参加の吟詠を行うと共に、一般来聴者にも紹介できた。

253 人参加(内一般会員他 50 人)

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会（一般来聴公募）

地区事情に合わせた研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠を鑑賞頂いた。

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会 エーリック(尼崎)  
平成 30 年 6 月 10 日(日) 160 人参加(内一般会員他 30 人)
- ・九州大会 平成 30 年 6 月 24 日(日) 161 人参加(内一般会員他 60 人)
- ・中国(島根)大会 平成 30 年 8 月 5 日(日) 100 人参加(内一般会員他 30 人)
- ・岡山大会 平成 30 年 8 月 19 日(日) 100 人参加(内一般会員他 20 人)
- ・東海大会 平成 30 年 11 月 23 日(日) 286 人参加(内一般会員他 120 人)
- ・京滋福井大会 平成 31 年 2 月 10 日(日) 160 人参加(内一般会員他 60 人)
- ・中国(広島)大会 平成 31 年 3 月 17 日(日) 340 人参加(内一般会員他 120 人)
- ・四国大会 平成 31 年 3 月 31 日(日) 109 人参加(内一般会員他 30 人)

(2) 各公認団体等の記念大会等に対する後援を行った。

- ・攝友会創立 60 周年記念吟詠大会
- ・緑扇会創立 50 周年記念吟剣詩舞道大会
- ・昭和吟詠会創立 60 周年記念並びに二代目哲壮襲名披露祝賀会
- ・哲菖会結成 65 周年記念祝賀吟詠大会
- ・哲滄会創立 60 周年記念「吟と舞」の祭典
- ・岡山大学吟詩部創立 60 周年記念吟詩発表大会
- ・淞苑会創立 20 周年記念吟詠大会

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣を行った。

- ・小中学での課外授業への積極的参加
- ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
- ・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供

② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進を行った。

③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。

- ・公共図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の提供

④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加

⑤ 路上ライブなどへの積極的参加

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(3)項の各推進活動に対して、正副会で内容確認し、限度内で助成を行った。

(5) 全国青年部吟詠大会（一般来聴公募）を開催した。

青年部主導で平成 31 年 3 月 24 日（日）四条畷市民総合センターに於いて、青年部員吟詠、役員吟詠、アンサンブルリベルタ・ライブ、他流優秀吟者吟詠、津軽三味線演奏、関西吟詩優秀吟者吟詠、青年部による構成吟の発表で詩歌吟詠の普及と伝承が図れた。

400 人参加（内一般会員 180 人）

(6) 電磁的公報、機関誌発行

① 吟詠普及の為のテレビ放映は、費用対効果を鑑みて実施に至らなかった。  
地区のケーブル TV 放送にも働きかけたが、今年度の実施は実現しなかった。

② ホームページでの吟詠普及

- ・ホームページのリニューアルの実施  
スマホ時代に対応する為のリニューアルの実施  
教場紹介コーナーの設置の検討
- ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介。
- ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介。
- ・会員募集のチラシ

③ 機関誌「吟詩日本」の発行（一般販売）を行った。

- ・吟詩日本を時代に即応する為リニューアルを行った。
- ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
- ・「吟詩日本」発行（181号、182号、183号、184号）を行った。

(7) 教本発行（一般販売）

① 教本冊子頒布

・新教本初級編（既刊）	1冊(20題)
新教本 A その2(既刊)	1冊(60題)
新教本 A その3(既刊)	1冊(60題)
新教本 A その4(既刊)	1冊(60題)
単行本 A61～A68（既刊）	4冊(23題)
教本律詩編 B1～B3（既刊）	3冊(90題)
単行本 B31～B33（既刊）	3冊(9題)
教本古詩編 C1～C3（既刊）	3冊(65題)
教本和歌・俳句・新体詩 D1(既刊)	1冊(30題)
単行本 D11～D17（既刊）	7冊(27題)
教本副読本(アクセント入り)	
四句詩編(既刊)	1冊
六・八句詩編(既刊)	1冊
長詩編(既刊)	1冊
教本縮刷本 A(絶句編)(既刊)	1冊
B(律詩編)(既刊)	1冊
C(古詩編)(既刊)	1冊
点字テキスト新 A その1(既刊)	1冊
新教本発行 縮刷本 A(絶句編)(新刊)	1冊
D号合本(新刊)	1冊
「和歌・俳句・新体詩」縮刷本の検討	

② 「たのしい吟詠」の配布（無料提供用教材）

- ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本  
(ドレミファの譜面付)

(8) 海外移動教室の開講

- ・中国移動教室（曲阜・開封での漢詩の世界探訪並びに中華吟誦学会と交流）を行った。
- ・曲阜で孔子文化園訪問後、孔子研究院の孔祥林先生より歓迎挨拶。
- ・開府では河南大学にて「中日古典詩吟誦聯絡会」に出演。  
平成30年5月14日～19日 参加者 41人

(9) 国内移動教室の開講

国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上を図った。

- ・哲友会主管で日帰り吟行会を行った  
日時：平成30年5月23日（水） 参加者：172人  
行先：出石・生野（沢庵和尚ゆかりの「宗鏡寺」、生野銀山、平野國臣が挙兵した代官所跡）
- ・大阪地区連合会主管で日帰り吟行会を行った。  
日時：平成30年11月13日（火） 参加者：46人  
行先：京都・大阪方面（戊申戦争開戦の地～伏見周辺～淀川右辺～大阪梅田迄の旧跡歴訪）

(10) 災害復興支援活動の実施

- ・災害復興義援金の募集活動継続実施（各事業毎に呼びかける）

**公益目的2** 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催（一般来聴歓迎）

- ① 全国新人中間層競吟大会 平成30年11月11日（日）  
エーリック（尼崎） 参加者590人 出吟者284人
- ② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会 平成30年12月9日（日）  
現代劇場（高槻） 参加者600人 出吟者323人
- ③ 全国競吟大会予選大会
  - ・大阪地区大会・九州地区大会・中国地区大会・岡山地区大会
  - ・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・和歌山地区大会
  - ・京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会を実施した。

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与した。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠普及活動実施を要請した。

- ① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施し、総本部長が認定した。

平成30年7月1日 昇段免許授与

平成31年1月1日 昇段免許授与

② 地方昇格試験及び研修会(師範・準師範・師範代)を実施した。

福岡試験場 平成30年6月24日(日)

広島試験場 平成30年6月17日(日)

名古屋試験場 平成30年6月17日(日)

③ 昇格試験及び研修会を実施した(総本部試験場)。

師範・準師範 平成30年7月15日(日)

師範代 平成30年7月22日(日)

(昇格試験に合格したものに、9月1日付で、9月9日の東明祭において免許状を授与した。)

### (3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

#### ① 吟詠普及推進研修会

公益目的事業1・詩歌吟詠の普及推進事業に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行った。

- ・ 吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会(本部)  
平成30年6月10日(日) エーリック(尼崎)  
160人参加(内一般会員他30人)
- ・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会  
平成30年6月24日(日) 161人参加(内一般会員他60人)
- ・ 吟詠普及推進研修会中国(島根)地区大会  
平成30年8月5日(日) 100人参加(内一般会員他30人)
- ・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会  
平成30年8月19日(日) 100人参加(内一般会員他20人)
- ・ 吟詠普及推進研修会東海地区大会  
平成30年11月23日(日) 286人参加(内一般会員他120人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会  
平成31年2月10日(日) 160人参加(内一般会員他60人)
- ・ 吟詠普及推進研修会中国(広島)地区大会  
平成31年3月17日(日) 340人参加(内一般会員他120人)
- ・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会  
平成31年3月31日(日) 109人参加(内一般会員他30人)

#### ② 指導者研修会を行った。

- ・ 推薦師範講習会 平成30年6月10日(日)  
エーリック(尼崎) 160人
- ・ 本部研修会(平成31年度師範昇格試験課題詩講習)  
平成30年9月2日(日) 大東市市民会館大ホール  
吟詠6題 和歌3題 180人参加
- ・ 本部研修会(平成31年度準師範師範代昇格試験課題詩講習)  
平成30年11月25日(日) エーリック(尼崎)  
律詩8題 絶句10題 170人参加
- ・ 新教本講習会  
平成30年5月13日(日) エーリック(尼崎)  
新体詩 3題 260人参加

平成 30 年 9 月 9 日(日) 大東市市民会館  
新体詩 2 題 340 人参加

③ 吟道大学講座を開講した。

- ・平成 31 年 2 月 2 日～3 日 パナソニックリゾート大阪
- ・漢詩、作詩法、発声の理論・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修 参加者 約 150 人

④ 新指導者養成講座「東明未来塾」を開設 116 人が修了した。  
漢詩鑑賞、作詩法、発声の理論・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修を行った。

○総本部コース

- ・開催回数 6 回/年
- 平成 30 年 5 月 26 日(土) 平成 30 年 7 月 28 日(土)
- 平成 30 年 9 月 29 日(土) 平成 30 年 11 月 24 日(土)
- 平成 31 年 1 月 26 日(土) 平成 31 年 3 月 23 日(土)
- 受講者数 39 人

○地方コース

- ・東海地区(静岡・愛知・三重)
- ・開催回数 3 回/年
- 平成 30 年 7 月 7 日(土) 平成 30 年 10 月 6 日(土)
- 平成 30 年 8 月 18 日(土) 受講者数 42 人
- ・四国地区(徳島・香川・高知・愛媛)
- ・開催回数 2 回/年 (1 泊 2 日)
- 平成 30 年 9 月 23 日(月)～24 日(火)
- 受講者数 35 人

⑤ 作詩講座(一般公募)を実施した。

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図った。

- ・毎月第 2 金曜日 午後 3 時～5 時 00 分迄
- 年 12 回(前期、後期に分けて)
- 総本部 会議室 参加者数 延 360 人

⑥ 作詩添削を実施した。

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上を図った。

4 回/年 参加者数 延 120 人

⑦ 漢詩鑑賞講座(一般公募)を開講した。

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

- ・2 カ月 1 回 午後 1 時～4 時 00 分迄
- 年 6 回 総本部 会議室 参加者数 延 360 人

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求するなどの研究を行った。



- ・指導局指導部会 12回
- ・指導局教養部会 12回
- ・指導局教本作成部会 12回
- ・秀詠グループ吟詠研究会 3回

(5) 部会・委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行った。

- ・広報局広報部 18回
- ・広報局ホームページ委員会 12回
- 吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案の提言を行なった。
- ・広報局企画部 8回
- ・青年部 12回

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置した。

- ・作詩添削委員会

## 2. 収益事業

### 収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等の頒布を行った。

(1) 参考図書販売

- ①教本詳解
- ②誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ③作詩便覧 宮崎東明編
- ④作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
- 中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CDの頒布

- ①俳句新体詩伴奏曲集
- ②和漢名詩選(1) (既存)      ③和漢名詩選(2) (既存)
- ④和漢名詩選(3) (既存)      ⑤和漢名詩選(4) (既存)
- ⑥和漢名詩選(5) (既存)      ⑦本部指導者研修会収録編
- ⑧伴奏曲集(俳句新体詩) (既存)
- ⑨国歌・関西吟詩会歌伴奏編 (既存)
- ⑩吟詠歌謡「西郷隆盛」(新刊)

(3) DVDの頒布

- ①李白                      ②坂本龍馬                      ③勝海舟
- ④西郷南洲                  ⑤高杉晋作                      ⑥吉田松陰
- ⑦義経                      ⑧天璋院篤姫

**収益 2** 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を  
交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状の授与を行った。

平成 30 年 7 月 1 日付

平成 31 年 1 月 1 日付

② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状の授与を行った。

平成 30 年 9 月 1 日付

③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状の授与を行った。

平成 30 年 9 月 2 日付

(2) 記章の販売

「師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売を行った。

**3. 相互扶助事業**

**その他 1** 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- |                      |       |                     |
|----------------------|-------|---------------------|
| (1) 東明祭の開催           |       | 平成 30 年 9 月 9 日 (日) |
| (2) 会員増員表彰 (個人、支部、会) | 東明祭   | 平成 30 年 9 月 9 日 (日) |
| (3) 慶寿、成人祝           | 東明祭   | 平成 30 年 9 月 9 日 (日) |
| (4) 功労者等顕彰の実施        | 東明祭   | 平成 30 年 9 月 9 日 (日) |
|                      | 吟功章   | (上師範、高師範、総師範)       |
|                      | 特別吟功章 | (宗範)                |
|                      | 特別昇格  | (上師範、高師範、総師範)       |
|                      | 特別功労賞 | (宗 帥)               |

**4. その他の事業 (法人会計事業)**

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

(1) 定時総会を開催した。

平成 30 年 6 月 2 日 (土)

(2) 各種会議

- ① 総会
- ② 役員会 (正副会長会・理事会)
- ③ 元老・相談役・参与会議
- ④ 局部会 (総務部・財務部)
- ⑤ 懇談会

都府県連合会代表者会議

都府県連合会連絡協議会

- ⑥ 東明未来塾運営委員会・拡大会議
- ⑦ 特別審議委員会
- ⑧ その他特別検討委員会

(3) 代議員選挙の実施

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| ① 公示    | 平成31年1月15日      |
| ② 立候補受付 | 平成31年2月1日～2月10日 |
| ③ 投票    | 平成31年3月1日～3月10日 |
| ④ 開票    | 平成31年3月11日      |
| ⑤ 選挙結果  | 平成31年3月13日に発表   |

以上